

VR発達障害

他人事で見えていたことも

“一人称”で体験するとちがって見えるはず



発達障害がある人が持つ特性は、言葉だけでは理解されにくいものが多く、「親の育て方が悪い」「わがまま」「本人の努力不足」等と言われてしまうことがあります。

VR発達障害は、発達障害のいくつかの特性をVRで一人称で体験するものです。発達障害を「学ぶ」のではなく「体験する」ことで、日々の対話のすれちがいに気づき、新しい関係づくりに繋げていくことを目指しています。

100,000人以上が体験したVR Angle Shift ～発達障害編～

■感覚過敏【聴覚編】

多くの発達障害当事者に聴覚の過敏が認められています。聴力があるのに聴覚的情報がとりづらい感覚とはどういうことかを一人称で体験できます。



■感覚過敏【視覚編】

疲労が溜まったり不安が強くなったりすると、症状が出やすくなることが多い視覚過敏の症状を一人称で体験できます。



■ADHD【不注意優勢型】

ケアレスミスが多い、約束を忘れてしまう、物をよく失くすといった、不注意を起因とする症状が主に現れるADHD 不注意優勢型の一人称体験です。



■当事者インタビュー

VR発達障害のプログラムは、VR体験に加えて、VR制作にご協力いただいた当事者インタビューも視聴し、発達障害に対する理解に繋がります。

※ ホームページにて、当事者インタビューの一部を視聴可能です。

<https://angleshift.jp/identity/>



yu-kaさん（ADHD不注意優勢型 当事者）
大学時代にADHD不注意優勢型と診断された。きっかけは、飲食のアルバイトで「周りの人と同じようにできない」と悩んだことだった。つまりくことも多かったが、耳から聞いた情報を記憶することが得意なことに気づき、現在はその特性を活かし、インタビューをもとにその人を応援する曲を届けるシンガーソングライターとして活動している。

吉野 公篤さん（五感の感覚過敏 当事者）
幼少時代から周囲に「変わり者」と言われていたが、母親からは「そのままが良い」と育てられた。中学で不登校になり高校は定時制に通学。母親の介護をきっかけに資格を取得し26歳で介護業界へ。33歳の時にASD（自閉スペクトラム症）、ADHD、LD（計算障害）と診断を受ける。現在は相談支援専門員として障害者の支援をする傍ら当事者同士の活動を支援している。

■体験者の声

本などでわかっていたつもりのこと、実体験すると違うなと思うことがありました。

●医療従事者

自分の子供がアスペルガー、ADHDで彼の困難さがわかって涙が出ました。

●家族

360°見渡せるので臨場感があり、リアリティがあった。思わずあとずさったり、耳をふさぎたくなったり、目の前を払いたくなったり、体感することができたと思う。

●その他

今回の体験を受けて「健常者」とは何だという疑問ができました。「障害者」とは何か？聴覚・視覚が他より鋭いだけで、私達と何もかわらないと思いました。

●学生

「VR発達障害」を体験するには

導入パターンは、以下の方法があります。

A) 体験会を開催する

- (a) VR体験会
- (b) VR + 講師オンラインのハイブリッド体験会
- (c) 完全オンライン体験会（VRなし）

B) レンタルする

- (a) コンテンツが入ったVR機材をレンタル
- (b) コンテンツのみをレンタル（VR機材はご自身で準備）

※ 詳細および費用については次ページ以降をご参照ください。

※ ご検討中の方を対象に、事前体験のご案内も可能です。

導入パターンA) 体験会を開催する

体験会は90～120分で、3つの体験をします。体験毎に参加者同士で「本人の視点に立ったときに何を感じ何を思ったか」を話し合い、どの様に周りが配慮することができれば状況改善につながるのか意見を出し合い、学びを深めていきます。また、制作に協力いただいた当事者の方のインタビューを聞きながら発達障害を取り巻く問題の本質に迫ります。

(a) VR体験会

- 参加人数分のVR機材とファシリテーターを派遣し、集合研修で開催します。



ファシリテーターを派遣



VR体験 (1人1台)



グループディスカッション

(b) VR + 講師オンラインのハイブリッド体験会

- Web会議システムを活用し、会場とファシリテーターをオンラインで繋ぎ、体験会を開催します。
- 参加人数分のVR機材をあらかじめ会場にお送りし、主催者がオンラインで繋いだ講師の指示のもとVR機材の準備をします。



- ※ 複数の会場に分かれての開催もご相談可能です。
- ※ インターネット環境や会場の音響確認などのため、事前に接続確認をお願いしております。

(c) 完全オンライン体験会 (VRなし)

- Web会議システムを活用し、参加者とファシリテーターをオンラインで繋ぎ、体験会を開催します。参加者は各自の拠点から参加可能です。

- ※ 体験は、パソコンなどのデバイスで一人称視点の動画を視聴します。



Web会議システムを活用



パソコンなどのデバイスで視聴



オンライン上でグループに分かれディスカッション

■ 体験会の開催費用 ※詳細は御見積いたします ※すべて税抜き表記

基本料金は以下の合計です。

- (a) VR体験会 ①～⑥
- (b) VR + 講師オンラインのハイブリッド体験会 . . . ①～④
- (c) 完全オンライン体験会 (VRなし) ①' ～②

① 【VR】プログラム使用料

	1回開催の場合		同日2回開催の場合		同日3回開催の場合	
	費用	(1人あたり)	費用	(1人あたり)	費用	(1人あたり)
30名プラン	120,000	4,000	192,000	3,200	234,000	2,600
40名プラン	150,000	3,750	240,000	3,000	300,000	2,500
50名プラン	170,000	3,400	280,000	2,800	360,000	2,400

①' 【完全オンライン】プログラム使用料

	1回開催あたり			1回開催あたり	
	費用	(1人あたり)		費用	(1人あたり)
30名プラン	120,000	4,000	60名プラン	192,000	3,200
40名プラン	150,000	3,750	70名プラン	224,000	3,200
50名プラン	170,000	3,400	80名プラン	240,000	3,000

※80名以上も対応可能です。詳しくはお問い合わせください。

② ファシリテーター費用

	1回開催の場合	同日2回開催の場合	同日3回開催の場合
費用	30,000	50,000	70,000

- ③ 機材輸送関連費 (台数により変動)
- ④ VRマスク (35円×参加人数)
- ⑤ ファシリテーター交通費 (新浦安駅からの往復実費 1名分)
- ⑥ 移動人件費 (一律30,000円。東京/埼玉/千葉/神奈川は不要)

※ ファシリテーターの稼働開始時間が8:00より早い場合は早朝対応料金、稼働終了時間が18:00より遅い場合は夜間対応料金として各15,000円をいただきます。

※ 宿泊を伴う場合は宿泊拘束費 (宿泊費込み) として50,000円をいただきます。

※ 土日祝日開催の場合は①①' ②⑥、早朝・夜間対応料金、宿泊拘束費が20%UP料金となります。

導入パターンB) レンタルする

レンタル内容には、VR発達障害のコンテンツ3本とVR認知症のコンテンツ6本が含まれています。加えて発達障害・認知症の当事者インタビュー映像4本（YouTube映像）もご覧いただけます。

【発達障害コンテンツ】



発達障害のADHD（注意欠如多動性障害）の「不注意優勢型」の方の思考の変化を体験する。(6分)



発達障害のASD（自閉症スペクトラム障害）の方の特性に多い「聴覚過敏」を体験する。(2分)



発達障害のASD（自閉症スペクトラム障害）の方の特性に多い「視覚過敏」を体験する。(3分)

【認知症コンテンツ】



視空間の失認の症状を体験する。距離感がつかめなくなる状況を再現。認知症がある方の『問題行動』とされるものには理由があることに気づく。(2分)



電車でどこで降りるのかわからなくなる状況を体験するコンテンツ。症状だけを見るのではなく、その症状がある方の気持ちを想像する力につなげる。(5分)



レビー小体型認知症の幻視を再現したコンテンツ。レビー小体病当事者の樋口直美さん完全監修。(5分)



認知症と診断された本人を取り巻く家族の対応を2パターンに分けて体験する。おじいちゃんを責め続ける家族と、優しく受け止める家族。本人に対する影響を体験する。(10分)



『やすおじいちゃん物語』とセットで体験するコンテンツ。家族（息子）を取り巻く事情を息子の視点で体験する。(10分)



39歳で認知症と診断された丹野智史さんがモデルの物語。認知症と診断され、落ち込み、鬱病を経て前向きに立ち直るまで、家族、会社、友人がどのように彼を支えたのかを追体験する。(19分)

【当事者インタビュー】



ADHD不注意優勢型 当事者のyu-kaさん。「ADHD不注意優勢型」のモデルになった方。(8分)



五感の感覚過敏を持つ吉野さん。「感覚過敏～聴覚編～、～視覚編～」を体験いただいた後に見ていただくもの。(5分)



50歳でレビー小体型認知症と診断された樋口さん。「レビー小体病幻視編」の制作に込めた思いについて。(4分)



39歳で認知症と診断された丹野智文さん。見当識障害を持ちながら一人で通勤されている中で感じた思いについて。(2分)

レンタルには下記2パターンがあります

※VRの特性上、屋内での利用に限定しています。

(a) コンテンツが入ったVR機材をレンタル

- 1台からレンタル可能
- 4泊5日の短期レンタルから、1カ月単位での長期レンタルまで。

(b) コンテンツのみをレンタル（VR機材はご自身で準備）

- 1台分からレンタル可能
- 1カ月から年単位でのレンタル
- コンテンツ保護の観点で上、弊社指定のVR機種を準備いただく必要がございます（代理店は問いません）
- レンタル開始時にVR機材を弊社にお送りいただき、初期設定・コンテンツ導入をしてお返しします。レンタル期間終了時にVR機材を再度弊社にお送りいただき、コンテンツを削除させていただきます。
- ご利用に際し事前にコンテンツ利用許諾契約書を締結いただきます。

■ご利用イメージ

- 新卒・中途採用活動
- 社内研修
- 契約者様が運営する施設において契約者様が主催するイベント



学校へ訪問し認知症に対する理解促進活動とともに先生との関係構築に活用



就職イベントでブースへの呼び込みに活用



社内職員を対象にしたワークショップに活用



運営施設での地域住民向けのイベントに活用

■ レンタル費用 ※詳細は御見積いたします

※すべて税抜き表記

(a) コンテンツが入ったVR機材をレンタル

項目	費用	
① コンテンツ入りVR機材レンタル 1セット (VRゴーグル、スマホ、ヘッドホン 各1台)	4泊5日プラン 1万5千円/セット	1か月プラン 5万円/セット
② VRマスク (使い捨て)	35円/枚	
③ 機材輸送関連費	台数により異なる	
④ 事前レクチャー (所要時間 約1時間)	認知症 1万円 発達障害1万円 ※ご希望のテーマをご案内します ※各コンテンツの簡易解説資料付	
⑤ 【オプション】 講義資料 各40ページ程度	認知症 10万円 発達障害 10万円	

(b) コンテンツのみをレンタル (VR機材はご自身で準備)

※購入いただいたVRを弊社に郵送頂きコンテンツを導入します

項目	費用	
① 初期設定基本料	10万円/台数に関わらず一式	
② コンテンツ導入手数料	3千円/1台	
③ コンテンツレンタル料 (VR1台当たり)	月契約プラン 1万円/月	年契約プラン 10万円/年
④ 機材輸送関連費	台数により異なる	
⑤ 事前レクチャー (所要時間 約1時間)	認知症 1万円 発達障害1万円 ※ご希望のテーマをご案内します。	
⑥ 【オプション】 講義資料 各40ページ程度	認知症 10万円 発達障害 10万円	

【VR機材参考価格】 ※ご注文時期によって価格が変動する可能性があります。



VRゴーグル
(推奨機種: Pico G2 4K)
3万~4万円/1台



Micro SD
32ギガ
数千円/1枚



ヘッドホン
数千円/1個

※VRマスク (使い捨て) や
VRの充電器 (Type-C) は
別途ご用意ください

お問い合わせ

株式会社シルバーウッド VR事業部 (<http://angleshift.jp>)
VR@silverwood.co.jp

